

「花乃公案」同人

浅見 慈一 あさみ じいち



一九六四年、観世流能楽師浅見真高の長男として東京に生まれる。一九六七年、仕舞「老松」にて初舞台。鏡仙会に所属することにも、「代々木果道会」の運営にも携わる。重要無形文化財総合認定保持者。

馬野 正基 うまの まさき



一九六五年、観世流能楽師馬野義男の長男として京都に生まれる。一九六八年、仕舞「老松」にて初舞台。東京藝術大学邦楽科卒業。鏡仙会に所属し、現在は九世観世鏡之丞に師事。重要無形文化財総合認定保持者。

北浪 貴裕 きたなみ たかひろ



一九六七年、観世流能楽師北浪昭雄の長男として東京に生まれる。一九七三年、能「三井寺」の子方にて初舞台。成蹊大学卒業。観世流職分岡久広に師事し、観世会に所属する。重要無形文化財総合認定保持者。

二〇二三年 四月九日(日)

午前十一時開演(午前十時半開場)
※梅若能楽学院会館

能 蝉丸

替之型

シテ(逆髪) 馬野 正基
シテ(蝉丸) 浅見 慈一
ワキ(清貫) 大日方 寛
ワキツレ(興昇) 野口 能弘
ワキツレ(興昇) 野口 琢弘
アイ(博雅三位) 高澤 祐介
小鼓 曾和 正博
大鼓 大倉慶之助
後見 清水 寛二
鶴澤 久

狂言 寝音曲

シテ(太郎冠者) 高澤 祐介
アド(主) 前田 晃一
後見 金田 弘明

能 船弁慶

(休憩 十五分)

前後之替
シテ(前/静 御 前) 北浪 貴裕
シテ(後/平知盛の怒重) 武田 智継
子方(源義経) 村瀬 提
ワキ(武蔵坊弁慶) 村瀬 提
ワキツレ(義経の従者) 三宅 近成
ワキツレ(義経の従者) 矢野 昌平
アイ(船頭) 藤田 貴寛
小鼓 藤田 貴寛
大鼓 田邊 弘和
太鼓 柿原 恭資
後見 澤田 晃良
岡 久広
親世 淳夫
武田 祥照

地謡
武田 崇史
坂井 音晴
武田 文志
坂井 音隆
西村 友志
親世鏡之丞
柴田 稔
(終演 午後2時50分頃)

あらすじ

能 蝉丸 替之型

延喜帝の第四皇子蝉丸(シテ)は生まれながらに盲目であったため、勅命によって逢坂山に捨てられることになった。廷臣の清貫(ワキ)は嘆き悲しむ。蝉丸の髪を剃って出家の身とし、蓑、笠、杖を与えて別れを告げる。その後、琵琶の名手博雅の三位(アイ)と出会う。婁山に暮らすことになった蝉丸のもとに、姉の逆髪(シテ)がやってくる。逆髪は皇女の境遇に生まれながらも、髪の毛が逆立つ姿のために狂人となって辺境を彷徨っているのだった。偶然に再会した二人はお互いの境遇に心を寄せ合い慰め合うが、やがて逆髪は蝉丸をその場に置いて泣く泣く逢坂山を後にするのであった。小書一替之型では本来はツレの蝉丸もシテの扱ひとなり、逆髪と蝉丸の両者を主役として上演する。

能 船弁慶 前後之替

源頼朝との不和のため、源義経(子方)は武蔵坊弁慶(ワキ)らに伴われて西国に逃れようと津の国・大物浦に到着する。弁慶は船頭(アイ)に船の用意を申し付け、困難が予想される今後の道程を考えて一行に同道していた静御前(前シテ)を都に帰すように義経に進言する。静御前は落胆しながらも、船路の無事を祈りつつ別れの宴で舞を舞い、一行を見送る。やがて海上を進んでいくと俄に海が荒れ始め、周囲は不穏な様相に一変。そこに平知盛(後シテ)をはじめとする平家一門の亡霊が現れて襲い掛かってくるが、弁慶は法力によって果敢に立ち向かい、折り伏せられた亡霊たちを彼方に消え失せるのであった。小書「前後之替」では前場の別れの表現が深まり、後場では常とは装束が変わり、緩急のある地謡によって物語が進展する。



(撮影：駒井壮介)



(撮影：前島吉裕)

【入場料】

(全席指定、税込)

- S席 10,000円
- A席 8,000円
- B席 7,000円

(学生席：各3,000円引き)
25歳未満対象・鏡仙会電話対応のみ

【お申し込み】

●鏡仙会
電話：03(3401)2285

(午前10時～午後5時)

www.tessen.org

2月13日[月]発売開始

※初日は午後1時より受付

●カンフェティ
電話：0120(240)540

(午前10時～午後6時)

confetti-web.com

/hananokouan/

2月16日[木]発売開始



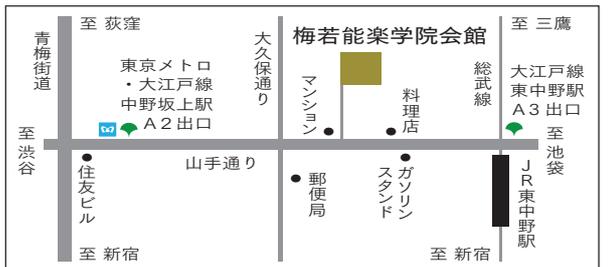
事前解説講座

日時：3月24日(金)18時半開演(30分前開場)

会場：鏡仙会能楽研修所

(東京都港区南青山4-21-29)

入場料：500円(※本公演チケットご購入の方は無料/要予約)
ご希望の方は、鏡仙会までお電話でお申し込みください。



梅若能楽学院会館

住所/東京都中野区東中野二丁目六番十四号 電話/03(3363)7748

◎東中野駅：JR総武線(西口)、都営地下鉄大江戸線(A3出口)より徒歩8分

◎中野坂上駅：東京メトロ丸の内線、都営地下鉄大江戸線(A2出口)より徒歩8分

【座席のご案内】◎座席図上の点線はすべて補助席となり、パイプ椅子でのご観劇となります。固定席完売時のみ、鏡仙会にて販売いたします。◎正面横席は、座席に傾斜がございます。◎脇正面の後方3列は、敷席となり、履物を脱いでご観劇いただく座席です。